

ゴー！医見 vol.282

深刻な懸念

参議院代表質問において参政党神谷代表が「厚労省に届けられているコロナワクチン接種後の死者は2,300人余りである。しかし、届けられていない人も大勢いることが分かっている。被害の実態をしっかりと精査するべきだ」と指摘しました。これに対し、高市総理は「重大な懸念は認められない」として精査を拒みました。政府が推進した政策の犠牲となって命を落とした人、今も健康被害で苦しんでいる人が多数いるのに「懸念は認められない」と切り捨てる、彼女の人間性に重大な懸念を抱きます。

さらに参政党以外の政党はコロナワクチンの問題には一切触れません。メディアもこの質疑の様子は一切報道しません。みな同罪です。私は我が国の言論空間に深刻な懸念を抱いています。

新兵器登場!

新兵器の紹介です。今回は量子アジャスター（以下、アジャスター）というものです。各臓器には固有の周波数があり、これが狂うと様々な症状が現れます。例えば、ストレスがかかっている場合に、おでこにアジャスターをあてると周波数が整えられるのです。定期的を使用することで症状が改善する事が期待されています。アジャスターもアナライザーや水素吸入と同じように無料で利用できます。

興味のある方は受付、または診察室でお申し付けください。

復興と地方再生

2月の連休に岩手県に行ってきました。「遙かなる復興への道」でおなじみの小川さんに会うためです。小川さんとお会いするのは7年ぶり、波乱万丈な日々の影響か、随分スリムになっていました。

復興とは？

大槌の「今」を見学させてもらいました。小川さんのご自宅でお話をうかがってから、高台にある城山公園に連れて行ってもらいました。大槌に来るのは4回目ですが、毎回ここを訪れています。眼下に広がる大槌の街並みの向こうに海が見えます。あの日、あの美しい海が恐ろしい巨大津波となって街に襲いかかったのです。小川さんが言いました。「あの時は遙か彼方まで海底がむき出しになった。あんなものは見たことがない」。巨大津波が来る前に、いわゆる引き波という現象が起きたのです。「これは恐ろしいことになる」と直感したそうです。

災害復興住宅、「鎮魂の森」という慰霊の施設、巨大な防波堤等が造られ、街並みもそれなりに整備されて綺麗になっていました。でも、決定的に欠けているものがあります。余りに人が少ないのです。大槌は震災前から過疎が進んでいました。震災後は国からの補助金で一時的に潤った企業もあったけれど、長続きはしなかったようです。過疎地の復興と地方再生、今こそ国がビジョンを示すべきです。

宮沢賢治記念館

花巻市にある「宮沢賢治記念館」にも行ってきました。

*東に病気の子供あれば 行って看病してやり 西に疲れた母あれば 行ってその稲の束を背負い
南に死にそうな人あれば 行って怖がらなくても良いと言ひ*

有名な「雨にもマケズ」の一節です。高市総理にはこういう者になってもらいたいと思います。

花巻東高校

2日目は小川さんに花巻東高校に連れて行ってもらいました。校舎も立派、体育館は3階建て、専用の大型バスは最新型。極めつけは野球の専用グラウンド、人工芝でプロ野球顔負けでした。宮沢賢治と大谷翔平、岩手が誇る二大偉人です。この二人の名前を見るたびに、小川さんと過ごした2日間の思い出が蘇ることでしょう。小川さん、2日間ありがとうございました。

つばさクリニック院長 石川 亨